

■インタビュー「 <i>Fieldworker</i> 」 【アイヌ文化】札幌大学副学長	本田 優子……………	3
■講演載録 【文学】小説家・精神科医	加賀 乙彦……………	6
■研究報告 【考古】北海道大学大学院教授	小杉 康……………	9
■シンポジウム発表要旨 【博物館】伊達市噴火湾文化研究所学芸員	青野 友哉……………	11
■市民学芸員修了論文要旨 虚説「南部藩士による室蘭南部陣屋の焼棄と撤退」を検証する	小田島 洋……………	13
胆振線の誕生から廃止までを振り返って	小西 京子……………	13
巨理伊達家に残る『追善和歌』についての調査	伊達 君代……………	14
伊達市開拓記念館の合わせ貝と貝桶について	渡邊久美子……………	14
カンタンの鳴き声と飼い方	田村 一彦……………	15
伊達市開拓記念館の「洛中洛外図屏風」について	林 良平……………	15
伊達市開拓記念館の産着・祝着について	上野真里子……………	16

表紙
「光の意味」

撮影・解説：栗 島 暁 浩

受賞歴

平成18年 第39回道美展新人賞

個展・参加展

2008年 6月 モノクローム合同写真展「Peace Pieces」広島県旧日銀広島支店

12月 写真展「味な人」だて歴史の杜カルチャーセンター

2009年 8月 モノクローム合同写真展「Peace Pieces」vol.2

広島県民文化センター

産業都市・室蘭の光に注視している。目を引くJX日鉱日石エネルギー室蘭製油所の明かりは、24時間安全に操業するための点検業務に欠かせない。白熱灯と蛍光灯に照らされたプラント内は複雑に配管が張り巡らされており、一寸の設計上の無駄がない機能美の極みでもある。保守点検の厳しい目が向けられる光であると同時に、工場夜景として人々を魅了する。立場によって違った見え方をする光に興味は尽きない。